

令和3年3月定例記者会見

■日時：3月1日(月) 午後2時45分

■場所：宮古市役所4階特別会議室

会見項目

1. 宮古市庁舎跡地公園の愛称決定
2. 浄土ヶ浜鎮魂ライトアップ
3. 宮古市津波避難訓練
4. 宮古市東日本大震災追悼式
5. 客船「飛鳥Ⅱ」寄港

会見内容

別紙資料1～5のとおり。

記者との質疑

《1. 宮古市庁舎跡地公園の愛称決定 について》

NHK

愛称が「うみどり公園」に決まったの感想を教えてください。

市長

市民投票で決まった愛称ですので、皆さんに早く覚えてもらうとともに、愛着を持って呼んでほしいと思います。

NHK

うみどり公園の整備を通じ、どのようなまちづくりを進めていきたいですか。

市長

子どもも、お年寄りも、体が不自由な方も、誰もが楽しめる場所が、まちの中心にできるので、人が集いやすいスポットになると思います。国道46号と106号線が交わる場所もあるので、この公園から新しい賑わいが生まれるような取り組みを進めます。

岩手日報

うみどり公園の完成はいつですか。

市長

今年7月末までの工事の予定です。

《3. 宮古市津波避難訓練 について》

共同通信

今回実施する避難訓練は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルによる津波想定（以下、津波想定）を踏まえた内容ですか。

市長

そのとおりです。2月に全戸配布をした暫定版ハザードマップには現時点での津波想定データを反映させていますので、その内容に基づいた訓練を実施します。

共同通信

避難所開設訓練の会場を赤前小学校とした理由を教えてください。

市長

津軽石地区が、新たに浸水区域が広がったエリアが多かったためです。

毎日新聞

昨年11月にも、津波想定データを加味した避難訓練をしていますが、その時と今回の訓練内容に違いはありますか

市長

昨年11月は避難行動のみを実施しました。今回は、さらに避難所開設の訓練を行います。

毎日新聞

赤前小学校での「新型コロナウイルス感染症対策避難所開設訓練」とは、どのような内容ですか。

市長

通常避難所開設のほかに、体調不良者用の隔離テントの設置などを行います。ソーシャルディスタンスの確保を意識した避難所開設の訓練となります。

毎日新聞

避難所の選定について、地元の方から「避難所が遠くて避難するのが大変」という声を聞きました。こうした意見について、どう思いますか。

市長

「避難所」と「避難場所」は異なります。津波発生時はまず近くの「避難場所」、なければ高台など、とにかく安全な場所を目指してもらいます。その後、被災する危険が無くなってから「避難所」に向かっていたきたいです。「避難場所」と「避難所」の違いを理解していただけるよう、引き続き周知してまいります。

《4. 宮古市東日本大震災追悼式 について》

毎日新聞

宮古市東日本大震災追悼式（以下、追悼式）は、コロナ対策により規模縮小とありますが、時間はどのくらい短縮になりますか。

市長

追悼電報紹介の取り止めや、来賓者数の見直しなどを行い、15分程度短くなります。

毎日新聞

追悼式で「遺族代表の言葉」は行いますか？

市長

行いません。震災から年月が経つにつれ、出ていただける遺族の方が見つからないことと、再び悲しい記憶を呼び起こさしてしまうことから、平成29年度から無くしています。

《5. 客船「飛鳥Ⅱ」寄港 について》

毎日新聞

飛鳥Ⅱ寄港に関連して、今後、コロナ禍での客船寄港の受け入れを進めるにあたり、どのように取り組んでいきますか。

市長

飛鳥Ⅱでの対応にもあるとおり、現場での感染予防を徹底し、市民・乗客どちらも安心して楽しんでもらえる歓迎体制を整えていきたいです。

NHK

今回の飛鳥Ⅱは寄港時間が短いですが、経済効果はどの程度あると考えますか。

市長

短時間の寄港なので経済効果は少ないと思います。それよりも、コロナ禍での客船寄港を成功させ、次の寄港に繋げることが重要だと思っています。

《 その他(三陸鉄道新田老駅) について》

朝日新聞

昨年5月に完成した三陸鉄道「新田老駅」について、市長自身が今まで利用されてきての感想などを教えてください。

市長

新田老駅はバリアフリー設計のため、高齢の方もよく利用されているように思います。従前の田老駅の近くにお住まいの方からも、ホームへの移動が楽だからと新田老駅の方を好んで使っていると聞きました。

朝日新聞

新田老駅の利用客を増やすための考えありますか。

市長

「持続可能なまちづくり」に向け、公共交通の利用推進に取り組んでいきます。その中で、三陸鉄道の利用促進について積極的にPRしていきます。また今後は、地域の方々が主体となり、公共交通の利活用について考えていく必要があると思うので、そうした働きかけも進めてまいります。

宮古市庁舎跡地公園の愛称決定について

1 決定愛称

愛称：うみどり公園

(1) 作品募集

対象：宮古市に住所を有する者または宮古市内の学校・会社等に通勤・通学をしている者（個人での応募に限定）

期間：令和2年10月15日～令和2年11月16日

応募作品：323作品

(2) 市民総選挙

対象：市内各世帯

期間：令和3年1月1日～令和3年1月25日

投票総数：1,481票（配布数23,841票、投票率6.21%）

選挙結果：下表のとおり（応募者に係る情報は、応募時点のもの）

【最優秀作品】

	作品名	獲得票数（票）	応募者
①	うみどり公園	472	15歳 男性 高校生

【優秀作品】

	作品名	獲得票数（票）	応募者
①	シーサイドパークみやこ	358	17歳 男性 高校生 32歳 男性
②	宮古中央広場	333	17歳 女性 高校生
③	新川町公園	159	59歳 女性 62歳 男性
④	おでんせパーク	155	10歳 女性 小学生 66歳 男性

2 特記事項

- ・最優秀作品及び優秀作品に選ばれた者については、公園のオープニングセレモニーにて表彰予定。

【問い合わせ】
宮古市都市計画課（Tel.68-9105）

浄土ヶ浜鎮魂ライトアップ実施要項

1 目的

東日本大震災の鎮魂の祈りを込めたライトアップを、停泊する浄土ヶ浜遊覧船を利用して行うと共に、夜の浄土ヶ浜の魅力発信及び体験・参加型観光として誘客を図る。

2 日時

令和3年3月10日（水）～14日（日）／午後6時～午後8時

※浄土ヶ浜ビジターセンターの開館延長（エレベーター利用可）を行う。

3 内容

- 停泊する浄土ヶ浜遊覧船に照明を飾り付け、午後6時から午後8時までの間、ライトアップを行い、夜の浄土ヶ浜の魅力発信及び体験・参加型観光による誘客を図る。
- 遊覧船発着所までの遊歩道にも照明及び夢灯りを設置し、ライトアップすると共に、夜の浄土ヶ浜の魅力発信を行う。
- 3月11日（木）午後7時からは、日本舞踊団体である「中川太治の会」による「鎮魂の舞～星空へ～」を遊覧船発着所敷地内で披露すると共に、遊覧船上においてスカイランタンの灯火式（予定）を開催する。



遊覧船への電飾（12/25）



スカイランタン（参考）

4 実施主体

森・川・海体験交流事業実行委員会

5 協力機関

昭和通りのおかみさんもてなし隊
宮古市中央通商店街振興組合
岩手県北自動車遊覧船事業部
宮古市

【問い合わせ】
宮古市観光課（TEL. 68-9091）

令和2年度宮古市津波避難訓練

令和3年3月11日（木）午前6時。緊急地震速報が鳴り、直後に強い揺れを感じた。宮古市は震度5強。気象庁より、岩手県・宮城県・福島県に大津波警報が発表された。震源地は三陸沖、震源の深さ約24キロメートル、地震の規模はマグニチュード9.0。この地震により沿岸部に大津波が来襲し、甚大な被害が発生する恐れがある・・・という設定のもと、津波避難訓練を行います。

地震・津波発生時には高台へ避難しましょう！！



訓練日時◆3月11日（木）※雨天決行

午前6時から6時50分まで

訓練会場◆宮古市役所：災害対策本部設置運営訓練

◆津波避難場所（最寄りの高台）：津波避難行動訓練

◆各水ひ門等：水ひ門等閉鎖訓練

◆赤前小学校：新型コロナウイルス感染症対策避難所開設訓練

午前6時頃、市内全域に緊急地震速報、防災行政無線のサイレンが流れます。身の安全を確保し、直ちに避難場所（最寄りの高台）までの経路と避難にかかる時間を確認しながら、避難訓練に参加しましょう。また、避難場所から津波避難所までの経路の確認にも努めましょう。

訓練内容

◆津波避難行動訓練<津波避難場所130か所>

市民、自治会・町内会、自主防災組織などによる高台避難訓練

◆新型コロナウイルス感染症対策避難所開設訓練

宮古市、自主防災組織、宮古市婦人防火クラブ連合会等で実施

◆水ひ門等閉鎖訓練

消防団、関係機関による水ひ門等閉鎖訓練

◆道路通行規制訓練

関係機関による道路通行規制訓練

◆災害情報発信訓練

宮古市、みやこハーバーラジオ（82.6MHz）による災害情報発信訓練

主 催：宮古市

参加機関：仙台管区气象台盛岡地方气象台、東北地方整備局三陸国道事務所、岩手県宮古警察署、第二管区海上保安本部宮古海上保安署、岩手県総務部総合防災室、岩手県沿岸広域振興局宮古地域振興センター、岩手県沿岸広域振興局宮古土木センター、宮古地区広域行政組合消防本部宮古消防署、宮古市消防団、東北電力ネットワーク株式会社宮古電力センター、宮古エフエム放送株式会社、自治会・町内会、自主防災組織、宮古エフエム放送株式会社

【問い合わせ：宮古市危機管理課 TEL68-9111】

宮古市東日本大震災追悼式

■日時 令和3年3月11日(木)午後2時30分～午後3時30分

■会場 宮古市民文化会館大ホール

■式次第・タイムスケジュール

時間	所要	内容
13:30～		■開場・受付
14:30～	8分	■追悼式開始 ◎式典概要・諸注意説明
14:38～	2分	1.政府主催追悼式中継 ◆秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席 ◆開式の辞（内閣官房長官） ◆国歌斉唱 ◎黙とう準備アナウンス ◆黙とう ◆内閣総理大臣式辞 ◆秋篠宮皇嗣殿下のおことば （中継終了）
14:40～	2分	
14:42～	1分	
14:43～	2分	
14:45～	1分	
14:46～	1分	
14:47～	5分	
14:52～	6分	
14:58～	2分	
15:00～		
15:00～	5分	3.式辞 宮古市長 山本 正徳
15:05～	5分	4.追悼のことば 宮古市議会議長 古館 章秀 様
15:10～	2分	5.献花 （代表献花⇒一般献花） ※参列者は献花後退場（解散）
15:30		■追悼式終了（16時30分まで献花のため会場開放）

【注意】
 ←政府主催追悼式の内容・中継時間は過去の実績を参考に作成。
 今年度の開催については未定。

■新型コロナウイルス感染症への対策

- ・式の規模を縮小する（来賓数及び式次第の見直し）。
- ・会場内でのマスク着用の呼びかけ、会場出入口での検温実施、手指消毒液の設置。
- ・参列者名簿の作成により連絡先の把握に努める。
- ・緊急事態宣言発令中の場合、対象地域からの参列については、自粛をお願いする。

【問い合わせ】市総務課（TEL. 68-9061）

客船「飛鳥Ⅱ」入港歓迎事業概要

1 日 程

令和3年3月17日（水） 午前8時00分入港／午前11時30分出港

2 場 所

宮古港藤原ふ頭（F9バース）

3 クルーズ概要

「春の三陸 大船渡・宮古クルーズ」

3月14日（日）▶3月18日（木）【東京発横浜着 4泊5日】

月 日	寄港地	入港	出港	備 考
3月14日（日）	東 京	—	16:30	
15日（月）	クルージング	—	—	
16日（火）	大船渡	9:00	17:00	
17日（水）	宮 古	8:00	11:30	
18日（木）	横 浜	12:00	—	

4 歓迎事業等

【入港時】 7:40頃～ 大漁旗等を振ってのお出迎え

【接岸中】 8:00～ 地元特産品等販売

復興関連パネル展示

【出港時】 11:10～ 重茂中学校「トド埼太鼓」

大漁旗や横断幕によるお見送り

※乗客・乗員との接触機会を減らすため、船長等出席によるセレモニー及び船内見学会は実施いたしません。

※乗客が下船するエリアは、全ての乗客の最終乗船が完了するまで（11時頃まで）は、関係者以外の立ち入りを制限します（11時頃からは検温、手指消毒などの感染症対策を行ったうえでご入場いただき、お見送りにご参加いただけます）。

※下船エリアへの立入制限中は、フェリーターミナル側からご見学いただけます。

※その他、客船などにおける感染症対策などの詳細は、郵船クルーズホームページ及び別紙をご覧ください。

5 船舶概要

船籍	日本	所有・運航	郵船クルーズ（株）
総トン数	50,444GT	全長	241m
全幅	29.6m	喫水	7.8m
航海速力	最高21ノット	横揺れ防止装置	フィンスタビライザー
客室数	436室（872人）	乗組員数	約490人

6 お問い合わせ先

宮古港利用促進協議会事務局 市港湾振興課内（☎68-9093）

【飛鳥Ⅱ 寄港実績】

	日にち	入港	出港	備 考
1	H18. 9. 9 (土) 11 (月)	宮古発 11:00	宮古着 14:00	川徳創業 140 年記念チャータークルーズ H18 年 3 月のグランドデビュー後、初入港 宮古→釧路→宮古
2	H20. 9. 22 (月) 24 (水)	宮古発 17:00	宮古着 15:00	川徳チャータークルーズ 宮古→釧路→宮古
3	H21. 9. 12 (土) 14 (月)	宮古発 10:30	宮古着 17:00	川徳チャータークルーズ 宮古→横浜→宮古
4	H22. 7. 21 (水)	8:00	17:00	初自主クルーズ (夏のみちのくクルーズ) 横浜→宮古→小名浜→横浜
5	H22. 10. 22 (金)	8:00	20:00	J T B 九州・西日本新聞社チャータークルーズ (燦くる～ず)
6	H25. 10. 25 (金)	8:00	13:00	J T B 九州・西日本新聞社チャータークルーズ (第 23 回燦くる～ず 2013)
7	H26. 11. 13 (木)	10:00	17:00	自主クルーズ (日本一周・韓国慶州クルーズ 10 日間) 神戸→宮古→函館→境港→浦項(韓国)→下関 →(瀬戸内海)→神戸
8	H28. 6. 9 (木)	12:00	17:00	自主クルーズ (日本一周グランドクルーズ) 神戸→東京→大船渡→宮古→釧路→ペトロナス →コルサコフ→網走→利尻→能代→佐渡→金沢→対馬 →佐世保→種子島→那覇→基隆→石垣→岩国→神戸 →東京
寄港中止	R 2. 10. 13 (火)	8:30	16:00	J T B チャータークルーズ (燦くる～ず 2020 きらめ きの日本一周クルーズ 9 日間) 博多→隠岐(島前)→金沢→(クルージング) →釧路→宮古→(クルージング)→高知→博多
9	R 3. 3. 17(水)	8:00	11:30	自主クルーズ (春の三陸 大船渡・宮古クルーズ) 東京→大船渡→宮古→横浜

平成28年以来5年振り

豪華クルーズ船「飛鳥Ⅱ」が宮古に寄港！

「飛鳥Ⅱ」 船籍/日本 全長・全幅/241m×29.6m 総トン数/50,444GT

春の三陸 大船渡・宮古クルーズ

(令和3年3月14日(日)～18日(木) 4泊5日)

5年ぶり9回目の寄港

3月14日(日) 東京(16時30分出港)
 15日(月) クルージング
 16日(火) 大船渡(9時入港、17時出港)
17日(水) 宮古(8時入港、11時30分出港)
 18日(木) 横浜(12時入港)



※スケジュール・寄港地・航路などは、気象・海象条件、新型コロナウイルスの感染状況、寄港地の受入れ状況、その他の事由により変更・中止となる場合があります。

※寄港地への上陸時及び帰船時には、体温測定や健康チェックが行われるとともに、観光での移動にあたってはバスの乗車人数制限などの感染症対策が実施されます。

クルーズ船の運航再開

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止されていた国内クルーズ船の運航が11月から再開されました。運航再開にあたり、各船会社等は、(一社)日本海事協会のバイオセーフティマネジメントシステムの認証を取得した新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止マニュアルに則り、乗船客数を減らすとともに、船内施設でのソーシャルディスタンスを確保するなど、様々な感染症対策を行っています。

宮古港は、昨年、過去最多となる8回のクルーズ船寄港が予定されておりましたが、クルーズ船の運航中止に伴い全てがキャンセルとなりました。このため、宮古港へのクルーズ船寄港は、令和元年9月に宮古発着クルーズが行われた「にっぽん丸」以来となります。

※クルーズの再開に係る感染症対策などについては裏面をご覧ください。

宮古港でのクルーズ船受入に係る感染症対策

ご乗船のお客様に「安全」に宮古での観光を楽しんでいただくとともに、歓迎する市民も「安心」してクルーズ船をお迎えできるよう、感染症対策を講じた新しいスタイルでの歓迎事業を行います。

○乗船客と見学者等の接触を回避することを目的に、ふ頭内への立ち入りについて、一部制限を行います。

- ・出港前の乗船が完了する11時頃までは、関係者以外の乗下船エリアへの立ち入りを制限します。
- ・全てのお客様の乗船完了後は、見学者も乗下船エリアへの立ち入りが可能です。お見送りへのご参加をお願いします(立ち入りの際は、検温、氏名等の確認、手指消毒にご協力ください)。
- ・乗船客との接触がないエリアへの立入制限は行いませんので、寄港中は宮古港フェリーターミナル側で「飛鳥Ⅱ」を間近にご覧いただくことができます。

○船員との接触を極力減らすため、船長への記念品贈呈等のセレモニーは行いません。

○市民等向けの船内見学会はございません。

○感染症対策を行ったうえで、乗下船エリアでの物産販売を行います。

- ・飲食用のブースは設置しません。試食・試飲、お振舞も乗下船エリアでは行いません。
- ・物販ブースは飛沫対策シートの設置、手指消毒液の設置、キャッシュレス決済の推奨等の感染症対策を徹底するとともに、従事者の健康等調査を行い船内にウイルスを持ち込ませないよう対応します。

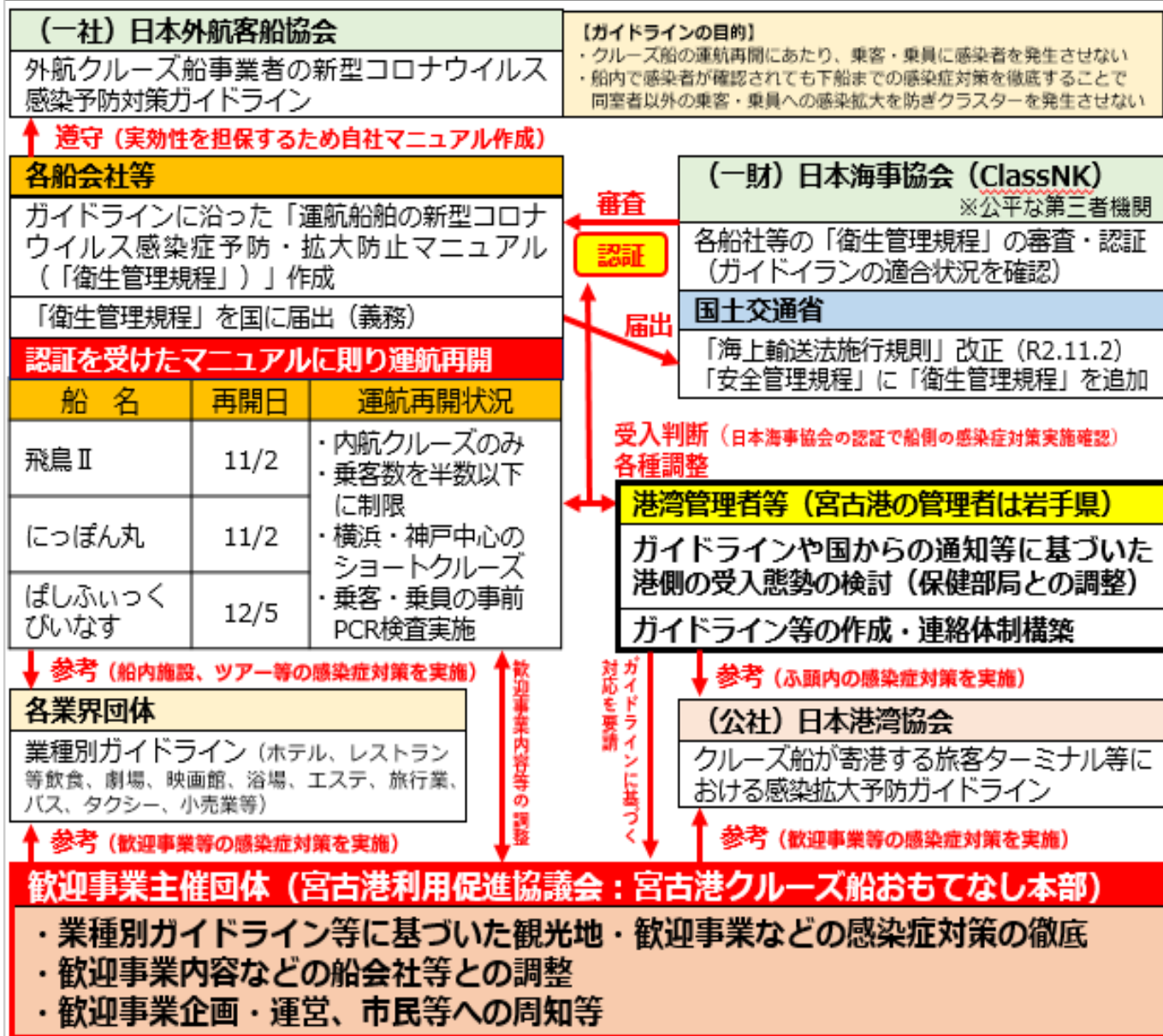
○船会社・観光施設・交通事業者と情報を共有し、感染しない・させない対策を徹底します。

宮古港利用促進協議会事務局 (宮古港クルーズ船おもてなし本部)

〒027-0024 宮古市磯鶏第4地割114番地1 宮古港フェリーターミナル内(宮古市港湾振興課)

電話:0193-68-9093 FAX:0193-62-5101

クルーズ船の安全・安心な運航・寄港に向けたガイドライン等



クルーズ船が行う感染症対策の概要

最初の乗船時	乗船中	寄港地での下船	最終の下船時	有症者発生時
<ul style="list-style-type: none"> ▶事前PCR検査 ▶健康質問票提出による乗船判断 ▶乗船受付時間の分散による混雑の回避 ▶乗員の事前PCR検査実施と乗船前の健康観察 	<ul style="list-style-type: none"> ▶マスク着用徹底 ▶手洗い・手指の消毒等の励行 ▶定期的な体温の測定 ▶他の乗客・乗員との距離確保 ▶客室間の往來の自粛 ▶施設の使用制限(一部を閉鎖、人数の制限、座席の指定等) ▶こまめな消毒 ▶飛沫防止対策 ▶船医などによる検査体制充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶舷門等での体温測定の実施 ▶上陸時間の分散 ▶帰船時における体温測定・健康異常有無の確認 ▶上陸時のマスク着用徹底 ▶ツアー人数制限 ▶健康異常などの連絡方法周知 	<ul style="list-style-type: none"> ▶体温測定の実施 ▶下船時間の分散 ▶手荷物受渡時における距離確保 	<ul style="list-style-type: none"> ▶船医による診断 ▶PCR検査の実施と船内隔離 ▶陽性者確認時点でクルーズ中止 ▶途中港で陽性者下船(陸上隔離) ▶濃厚接触者船内隔離 ▶その他の乗客は自室で待機 ▶下船港で下船

乗船前段階で乗客・乗員のスクリーニングを徹底

「飛鳥II」船内の感染症対策の実施状況 (R2.11 協議会事務局視察)